一般質問通告表

1.

15番 寺岡 公章 議員

質問形式 一問一答

コロナ禍における児童生徒の様子について

- ①休校明け、この約1週間の児童生徒の様子はいかがですか。
特に小学校・中学校の新1年生についてはいかがでしょうか。
- ②休校前と休校明けで、登校できない児童生徒に変化はありますか。
- ③休校中のネグレクトやDVなど、児童虐待の相談や情報はありましたか。
- ④学力定着について、今後の学校での取り組みをどう工夫しますか。
- ⑤ご家庭にご協力いただく点などを交え、アフターコロナを意識した学校生活をご紹介ください。

2.

16番 山本 孝三 議員

質問形式 一括

コロナウイルス感染防止・支援対策について

- ①検査体制の充実
 - ②医療・介護への支援
 - ③大学生などへの支援
 - ④公共料金減額
- 以上についての検討・実施を。

谷和地区のオオサンショウウオの保護について

令和2年5月13日付けで議員に情報提供があった、文化財保護法にもとづくメガソーラー開発業者からの申請に対する文化庁・広島県教育委員会・大竹市教育委員会の対応について問います。

3.

10番 和田 芳弘 議員

質問方式：一問一答

空家等対策について

- ①特定空家等への対応について
- ②空家等の利活用について

4.

4番 小中 真樹雄 議員

質問形式 一問一答

小学校・中学校の授業消化について問う

長期の休校に伴い、小学校・中学校の授業消化が大幅に遅れています。そのうえ、新学習指導要領により外国語教科化など盛りだくさんな内容の履修が要求されています。まず、夏休みの短縮規模、また、冬休みはどれくらいになるのですか。土曜日の授業など考えられていますか。夏休みに授業を行うとして、時々換気も必要でしょうが、熱中症防止に欠かせないエアコンの設置率はどうなっていますか。また3密の防止策は。児童・生徒だけでなく、指導に当たる教員の方の疲労度も相当だと思いますが、サポート体制はどのように準備されていますか。最終学年以外は授業内容を次年度に繰り越すことも許容されていますが、授業の遅れによる受験生の不安にどう応えていきますか。児童・生徒の負担をできるだけ軽減しつつ授業を消化できるよう工夫をお願いします。

オンライン授業の準備状況について問う

新型コロナウイルスの感染第2波が到来した場合、リスクマネジメントとしてのオンライン授業実施への備えは十分でしょうか。タブレットなどの配備状況は。また、教員の方の指導への習熟度は。さらにWi-Fi環境のない家庭へのサポート体制は。オンライン授業は公立・私立での教育格差を生む恐れが指摘されています。できるだけ早急な体制構築が不可欠ではないでしょうか。

5.

3番 原田 孝徳 議員

質問形式 一問一答

福祉施設や事業所における介護職員の一つの基準を示すための表彰制度について

病院などの医療と違い、福祉施設や事業所の場合、特に職員の経験年数等を知ることは困難です。そこで、市独自の表彰制度（経験年数に応じた）を設けることで、選ぶ側（利用する家族など）に一つの基準を示すことができるし、地域の介護職員に長く現場で働いてもらうことが可能になると考えます。

6.

14番 日域 究 議員

質問形式 一問一答

コロナのせいで見えた麴町中学校。ギガスクール構想って何ですか。

教育委員会が受け身だったら何も始まらない。ダメ元の考えもときには必要。どの子も9年で終える義務教育で学力保証という矛盾。これを超えなければ明日の日本は描けない。昔だったら複雑怪奇な能力別クラス編成が必要。しかし、今ならタブレットで自由自在かも。算数の成績は違っても、サッカーでは大切な仲間という素晴らしさ。無駄な時間を排し、全ての子が有意義な学校生活を送ることがギガスクールなら可能なのか。大きな壁は行政、そのトップ次第。さあ、大竹市はどうですか。

7.

11番 網谷 芳孝 議員

質問方式：一問一答

玖波地域の活性化のための玖波駅のエレベーター設置について

近年の玖波地域のまちのようすを見ますと、沿岸地域であると同時に大竹市の東の玄関口でありながら、大変厳しい環境が年々増して行くような気がしてなりません。

そうした中、大竹市の人口集計表を調べてみますと大竹市全体の人口減少の中で、玖波地域の減少率は大変大きな数字を表しております。

そのような状況の中では、玖波地域だけの問題ではなく大竹市全体の衰退に繋がるのではと、大変危惧しています。

そうした負の連鎖に入りかけている、玖波地域の活性化、または、高齢化社会に大きな役割を果たす、玖波駅のエレベーター設置に向けてのご意見を伺います。

大竹市立の小学校・中学校の学校選択制について

大竹市立の小学校・中学校の学校選択制は平成18年4月から導入されておりますが、児童・生徒にとってのメリット・デメリットは、様々な要因が関係するため、正否については中々難しいようです。

そうした中、ここ数年来、玖波学区から他学区への学校選択をする児童・生徒・保護者の方が多くみられ、率からみますと大変大きな数字になっていることが、気になるところです。

人間形成にとって、小学生・中学生の年代は、学業はもとより地域との関わり方も、これから大人に成長していく過程で、全体教育の一環としては大変重要な役割を果たすものと思っておりますが、教育委員会としての考えを伺います。

8.

9番 西村 一啓 議員

質問形式 一問一答

第5次総合計画の今後の取組や予定及び計画について

安全で安心して暮らせるまちづくりと住んで良かったまちづくりは、誰もが望むところです。自然に人口減少する中、本市の財政面への影響や、市内の旧小方小学校・小方中学校跡地周辺地域の計画や、晴海臨海公園施設の整備計画等、あわせて本市の今後の街路計画についても伺う。